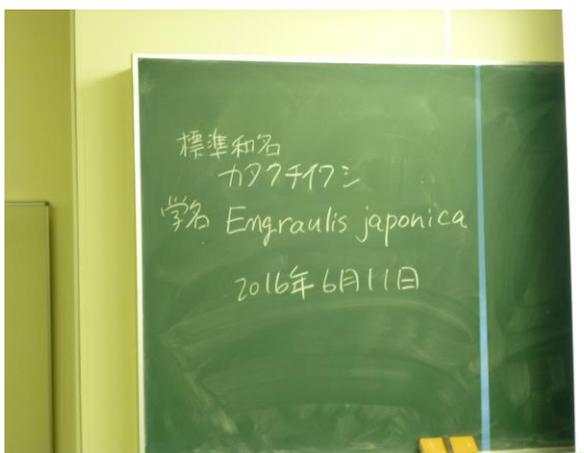


研究室訪問 (三重大学 生物資源学部)

6月11日(土)に三重大学 生物資源学部の研究室訪問を実施しました。1年生10名が海洋生態学研究室を訪問し、木村妙子先生ご指導の下、講義と実習に参加しました。

身近な魚種であるカタクチイワシの生理・生態やその漁獲量について学び、煮干しを使ってイワシを解剖して体のつくりを観察しました。また、解剖したイワシの胃の内容物を調べ、餌となったプランクトンを顕微鏡で観察し、イワシの鰓耙でこし取られたプランクトンを観察しました。



生徒の感想 (一部)

- ・イワシの解剖で耳石を探すのが難しかったです。人間とは体のつくりが違ったけれど、どういう過程で変わっていったのか気になりました。
- ・知らないことがほとんどだったので、とても楽しかったし、勉強になりました。大学の雰囲気を知ることも少しかつたので今後の進路に活かしていければと思います。
- ・ほんの数十年前ただけで、イワシの漁獲量が数百万トンも違って、何故こんな短い期間の間にこんなにも漁獲量が違うのか不思議に思った。